



「人生の集大成の時期が
いいものであってほしい」と介護
「困ったときのヨリドコロ。」と
地域で頼られる存在に

なでしこ力

Power of Nadeshiko

認知症の皆さんが通うデイサービス『ヨリドコロ。』（愛知県一宮市奥町）は、ほかの施設で合わない人もお試し利用を経験すると『ヨリドコロ。』なら行く」という人が多く、一部のケアマネージャーからは「最後の砦」と言われ、新規の紹介も多い。「激動の時代に猛烈に頑張ってきた皆さんの、集大成の時期が良いものであってほしい」と、ケアを行う楠さんに話を伺った。

「ついさっきの記憶が無い利用者」のために

ヨリドコロ。の現在の利用定員は24人（登録人数は60名程）。認知症対応型施設は館内が静かなことが多いが、『ヨリドコロ。』は常ににぎやかだ。利用者に伺うと「ここはあたたかいから気に入っています」「いい人ばかりで」と笑顔で答える。

一般のデイサービス利用者の中には、施設に合わず「もう行きたくない」と通所を拒否する利用者もいる。「認知症の人は直前の記憶の持続ができない」のに、なぜこうなるのか。

「利用者は、帰宅するとデイサービスで何をしたかは忘れてしまいがちですが、『楽しかった』『居心地がよかった』という記憶は残ります。そのため自宅に戻ると穏やかでいる人が多く『次に行くのが楽しみ』となります。逆に『嫌だった』という記憶は強く残り、帰宅後に家族を困らせたり夜中に大声を出す人もおり『行きたくない』となる…デイサービスでの過ごしと日々の生活はつながっているのです」と楠さん。

水分不足が意欲低下やせん妄につながる

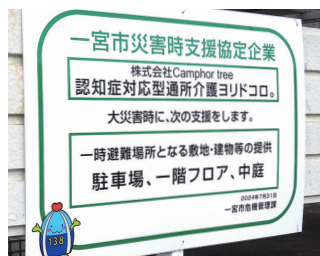
施設での仕事内容を伺うと想定外のコメントが返ってきた。「人間にとって大切なのは、まず水分。」

そして、栄養、活動、役割、楽しみです。それをすべて取り入れて過ごしていただいています。高齢者は水分をとらなくなるため脱水症状になりがち。それが意欲低下、食欲不振、せん妄にもつながるので、1日1ℓを目指して手作りのレモン水、お茶やゼリーを用意し、こまめに少量ずつ（150cc程度）を、声かけしながら摂取してもらっています。するとてきめんに状態がよくなり元気になる…ご家族にも喜んでいただいています」。

各自の人生を知り、栄養、活動、楽しみを提供

「栄養摂取が大切」と、昼食もおやつも手作りで、米価が倍層しても料金は上げていない。また利用者の顧客満足度につながるのが「活動・役割・楽しみ」の提供である。「どんな職業で、どう生きてきたか、趣味も各自で違い、それに合わせた対応が必要です。先生と呼ばれる職業だった人には先生と呼びかけ、手芸、書道、カラオケなど各自がやりたいことを1日に1度は楽しんでもらっています。これらの材料費は施設持ちですが、それが施設での楽しみにつながるのです」。

興味が無いレクリエーションを無理に参加すると、それがストレスとなり帰宅後に落ち着かず怒



ヨリドコロ。の施設（駐車場・1階フロア・中庭）は一宮市災害時支援協定を結び一時避難場として提供されている